町民との協働で復興を進めよ

山田町長／積極的に参加できるよう努める

北郷 ①「広野町町民の声取扱要綱」を活用して、町民から町政に対する意見、提案等を募集（復興目安箱の設置）し、行政運営に反映させていくべきではないですか。
②職員からも意見や提案を聴きながら行政運営に努めていくことが大事だと思いますので「職員提案制度」の導入を図るべきではないですか。

町長 ①震災以前より町政に対するご意見、ご提案等を「町民の声」として役場庁舎内窓口や電子メール等で募集してきました。
「町民の声」は、各課と調整し行政運営に反映してきたところであり、今後も、復興やまちづくり計画に積極的に参加できるような環境構築に努力していきます。
②今後も、全ての職員が町づくりに対する意見や提案がしやすい環境構築に努め、活気ある組織づくりを目指します。

リリー園の現状と見通しは

山田町長／関係機関と協議する

北郷幹夫 議員

北郷 広野町と楢葉町で設立した特別養護老人ホームリリー園の入所者は、福島第一原子力発電所の事故により避難を強いられ、福島県内外の別の施設や病院に移りました。
広野町からの入所者の現状と今後の施設再開の見通しを尋ねます。

町長 町からの入所者は、平田村の2カ所の施設に4人、いわき市の施設に1人が入所しています。
施設の再開見通しは、今後の区域の指定解除時期にもよりますが、リリー園としては、除染による放射線量の低減状況やインフラ復旧状況などを考慮し、楢葉町や関係機関との協議を行い、再開の時期を判断する考えです。

特別養護老人ホームリリー園

畑中 大子 議員

公的支援で医療と商店を拡充せよ

山田町長／町単独での支援は困難

畑中 ①町内の食料品店と医療機関に町が支援していくべきではないですか。
②災害復興特別税の一部を活用すべきと考えますが、特に商店への支援をどのように行いますか。
③機能している病院、医院と町は医療の充実のために、どのように話し合っていますか。

町長 ①町で財政支援をすることは困難で、国・県に強く要望しています。
②税額増収分は、復興事業の町負担分の財源と考えており、商店への支援に使用することは困難だと考えます。
③今、頑張っている病院などを国、県と連携しながら支援していきたいと考えています。

町営住宅家賃免除の公平性は

山田町長／公平性には問題がないと認識

畑中 ①平成25年度の町営住宅の家賃を免除する方針は、いつ決まったのですか。何軒が所得申告しましたか。
②退去を申し出たのは何軒ですか。
③町営住宅に戻らず、仮設住宅や借り上げ住宅に避難している住民に対する批判や非難の声に対する考えを尋ねます。
④町営住宅から避難した住民は、25年度家賃免除となり、新たに契約する住民から家賃を徴収するやり方に、公平性を尋ねます。
⑤東京電力福島第一原発の事故が、人災で、収束していないことをどのように認識していますか。

町長 ①決定時期は、2月19日です。
所得申告の提出軒数は、3月1日現在、68戸です。
②12軒から退去の申出がありました。
③避難している方々に対して、批判や非難の声が向けられることは、非常に残念なことです。
町は、一日でも早く帰還していただけるよう、復旧・復興事業を加速させていきます。
④「町営住宅に住む」という目的を奪われてしまったことから免除措置を実施するものです。
一方で、新たに入居される方は、「町営住宅に住む」という目的が達成されるため、家賃を徴収するものです。
公平性には問題がないものと認識しています。
⑤福島第一原発は冷温停止状態を維持しているとはいえ、原発事故は未だに収束していないと考えています。

完全賠償とは具体的にどういう賠償か

山田町長／生活が安定するまで確実に継続すること

畑中 ①「完全賠償」とは、具体的にどういう賠償を指しますか。
②完全賠償という言葉だけでは相手に伝わらないのではありませんか。

町長 ①町民の個別様々な被害に対し、きめ細かな損害賠償を生活が安定するまでの間、確実に継続することを求めたものです。
②町民の様々な個別事情に応じた損害賠償行為がきめ細かに展開されるよう、引き続き国・東京電力に対し強く要望します。

原発での適正な労働条件確保を要求せよ

山田町長／適正な労働条件確保での事故収束を要請

畑中 ①東京電力の関連会社で働く町民の人数は何人ですか。
②作業員の不適切な就労形態の認識を深める必要があるのではないですか。
③復興本社に対して②の事柄に関して、要求し、文書で回答を求めるべきではないですか。

町長 ①数は把握できていません。
②東京電力および原子力規制委員会の検討状況や取り組みを注視していきたいと考えています。
③議会と連名のもと、一日でも早い事故収束を要請しました。
今後も適正な労働条件の確保を前提とした事故の収束を要請したいと考えています。